

恵比須 大黒 おめでたや



恵比寿(写真右)と大黒



昨年、秋、親船町の吉岡さんから恵比寿様、大黒様の木像を資料館に寄贈していただきました。吉岡家は石狩本町地区で漁業を営んできた家で、木像は、100年くらい前からあり、床の間に並べていたそうです。

木像は、どちらも高さ46.5cmある立派なものです。恵比寿様は左に鯛を抱えています。本来は右手に釣りざおを持っていたはずですが、これは残っていませんでした。大黒様は型通り米俵の上に立ち、左手で大きな袋を背負い、右手には打ち出の小づちを持っています。全体に黒く塗られています。が、鯛や着物の袖は朱色、烏帽子は金色に塗られています。背面にはいずれも「信光」と彫られています。作者の名前でしょうか。

石狩に限らず漁師さんの間では、恵比寿様、大黒様は豊漁の神様で、いしかり博物誌でも第64回で石狩弁天社の石の恵比寿様のことを取り上げています。一般には福の神として知られており、こ



恵比寿像背面に彫られた「信光」の文字

自宅の神棚におまつりしている方も多いことと思います。

新しい年を迎えました。今年は皆さんに、そしてなにより被災者の方々に福が訪れますように。(工藤義衛)

※この木像は「資料館のお宝2012」として、いしかり砂丘の風資料館で公開中です